

誰もがなり得る認知症

広げよう見守りの輪

認知症は、脳の病気や加齢など、さまざまな原因で脳の細胞の働きが悪くなり、記憶や判断力の低下によって日常生活に支障が生じている状態を言います。高齢化が加速する日本では、認知症の高齢者の数は年々増加することが見込まれていて、本町も例外ではありません。ここでは、誰もがなり得る認知症への理解を深めてもらい、見守りの輪を広げる取り組みなどを紹介します。

認知症高齢者増加し 5人に1人の時代へ

町の高齢者のうち、令和3年度に要介護認定を受けた人で認知症が疑われる人は595人でした。国では、加速する高齢化によって認知症高齢者は年々増え、令和7年には約700万人

「認知症サポーター」に配布されるオレンジリング

に達し、高齢者の約5人に1人が何らかの認知症状を有する状況になると予測されています。今後、本町でも高齢化が進めば認知症高齢者はますます増加していくことが見込まれます。誰もがなり得る認知症ですが、早期に発見し適切な治療やケアを行うことで、

症状の進行を遅らせることができます。自分や家族に「もの忘れ」や「幻視」など認知症が疑われる行動がある場合は、早めに関係機関への相談やかかりつけ医などを受診しましょう。

地域で支え合うサポーターの存在が重要

高齢化が進む本町では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域で見守り支え合う体制づくりに取り組んでいます。その中心となるのが、症状を正しく理解し、偏見を持たずに認知症の人やその家族を見守る「認知症サポーター」の存在です。町では、出張訪問での養成講座の開催に取り組み、毎年、町内の小中学校の児童生徒や地域

ご存知ですか

「シルバーSOSネットワーク」

「シルバーSOSネットワーク」は、行方が分からなくなった高齢者などを早期発見、早期保護するための仕組みです。事前に

山田町0000



登録された対象者の情報を警察や行政、関係機関が共有し、速やかな検索につなげます。

認知症などで行方が分からなくなる恐れがある家族がいる場合は、事前の登録をお願いします。登録方法などの詳しい内容はお問い合わせください。

登録者には、登録番号が記載されたステッカー（反射材）を交付します。

の団体の方々がこの講座を通じて、認知症の基礎知識や対応などを学んでいます。受講者には「オレンジリング」が配布され、その数は3千人以上に及びます。この支援の輪をさらに広げるため、あなたの自治会や職場でも開催してみませんか。

- ◎認知症サポーター養成講座
- ▽内容 認知症の症状や対応の仕方などの講話
- ▽申込先 山田町地域包括支援センター（随時受け付け）

今月15日にセミナー 対応方法など学ぼう

地域での見守りの輪を広げるほか、町民一人一人が認知症を自分や家族にも起こり得ることとして捉えることも大切です。

町では、認知症の症状や対応方法などを広く知ってもらうため「認知症セミナー」を毎年開催しています。今年は寸劇仕立ての講演とするなど、楽しみながら認知症への理解を深めてもらう内容となっておりますので、参考にしてみてはいかがでしょうか。

- ◎認知症セミナー【無料】
- ▽期日 10月15日（土）
- ▽時間 午後2時～4時
- ▽会場 町中央公民館大ホール
- ▽内容 ▼体験「シルバーリハビリ体操」▼気仙ボケ一座による寸劇「広げよう！認知症への理解」
- ▽申込期限 10月11日
- ◆申込先・問い合わせ 山田町地域包括支援センター（☎8213136）へどうぞ。